

**2026年3月期 第1四半期
決算報告**

**2025年7月25日
ミスミグループ本社**

目 次

1. 25年度 第1四半期 決算概要	2
2. 25年度 通期業績見通し	9
3. Fictiv業績/シナジー効果	18
4. 資本政策の見直し/自己株式取得	23
5. 参考資料	26

為替レート (対円)	FY24 1Q 実績	FY25 1Q 実績
USDドル	156.5円	145.2円
ユーロ	168.4円	164.4円
人民元	21.5円	20.1円

25年度 第1四半期 決算概要

25年度 第1四半期 決算概要

売上は独自施策効果により増収も関税/為替影響で相殺、前年水準並み
成長に向けた支出は継続、為替含みで計画線もM&A費用影響により減益

百万円

項目	連結前			Fictiv	連結後	
	FY24 1Q 実績	FY25 1Q 実績	対前年増減率	FY25 1Q 実績	FY25 1Q 実績	対前年増減率
			円ベース (現地通貨 ベース)			円ベース (現地通貨 ベース)
売上高	99,527	99,368	▲0.2% (+3.6%)	—	99,368	▲0.2% (+3.6%)
営業利益	11,828	10,692	▲9.6% (+0.8%)	※ ▲1,065	9,627	▲18.6% (▲8.2%)
利益率	11.9%	10.8%	▲1.1pt (▲0.3pt)	—	9.7%	▲2.2pt (▲1.4pt)
経常利益	12,916	11,336	▲12.2% (—)	▲1,065	10,272	▲20.5% (—)
当期利益	9,251	8,003	▲13.5% (—)	▲783	7,219	▲22.0% (—)

※ M&A仲介費用

25年度 第1四半期 事業別売上高・営業利益

FA : 日・欧の低調をその他地域でカバー、収益はM&A費用で一時負担増

金型 : 自動車顧客の稼働低迷を受け、減収減益

VONA: 中・亜を中心に量産需要を獲得、収益性改善

百万円

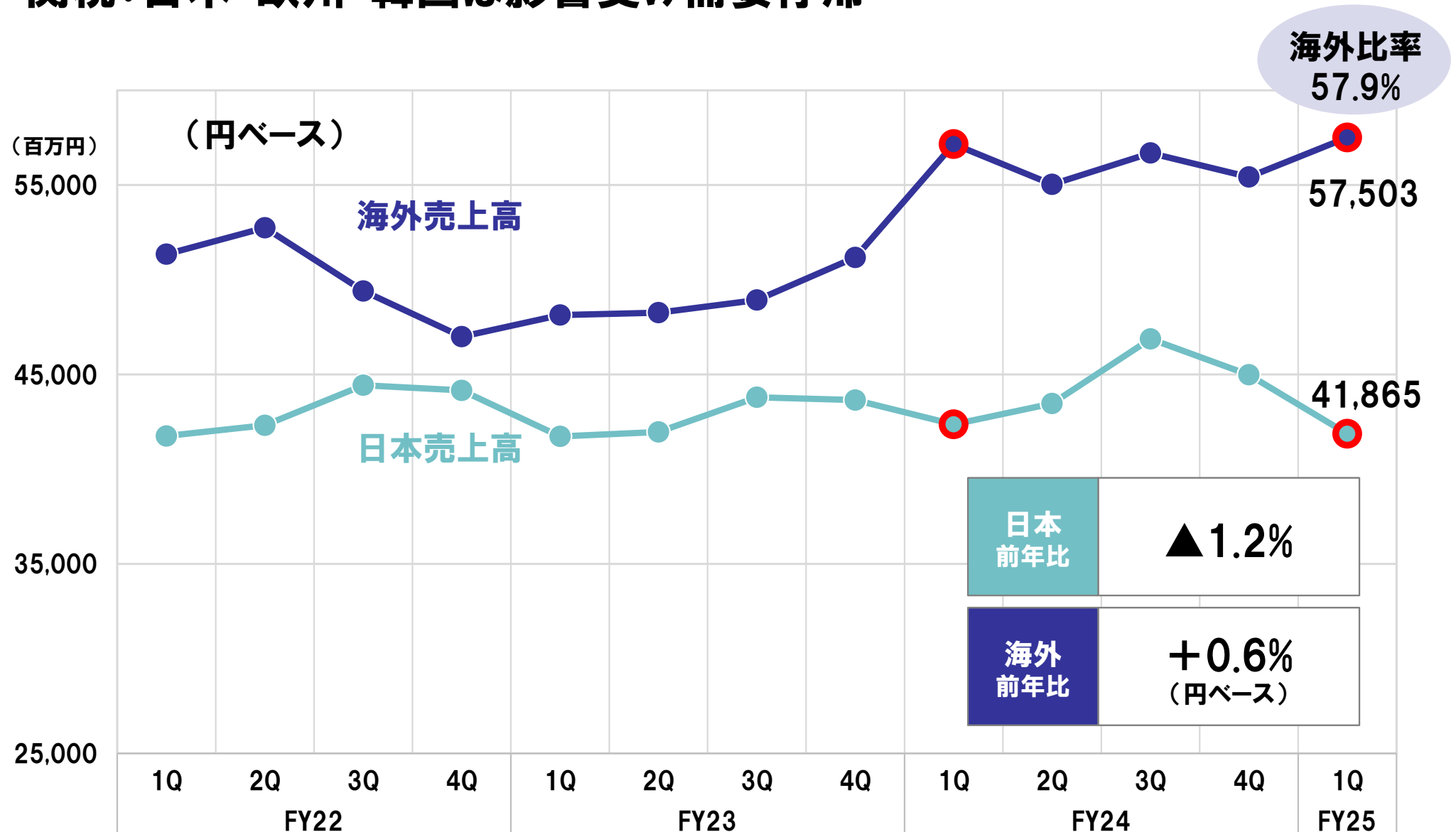
項目	売上高			営業利益				
	FY24 1Q 実績	FY25 1Q 実績	対前年増減率 円ベース (現地通貨 ベース)	FY24 1Q 実績		FY25 1Q 実績		対前年増減率 円ベース (現地通貨 ベース)
					利益率		利益率	
合計	99,527	99,368	▲0.2% (+3.6%)	11,828	11.9%	9,627	9.7%	▲18.6% (▲8.2%)
FA事業	33,559	33,569	+0.0% (+3.7%)	6,210	18.5%	3,922	11.7%	▲36.8% (▲28.7%)
M&A仲介 費用除外						4,987	14.9%	▲19.7% (▲11.6%)
金型部品 事業	21,887	21,060	▲3.8% (+1.7%)	2,441	11.2%	2,116	10.1%	▲13.3% (▲1.4%)
VONA 事業	44,080	44,738	+1.5% (+4.5%)	3,176	7.2%	3,588	8.0%	+13.0% (+26.6%)

25年度 第1四半期 日本・海外売上高

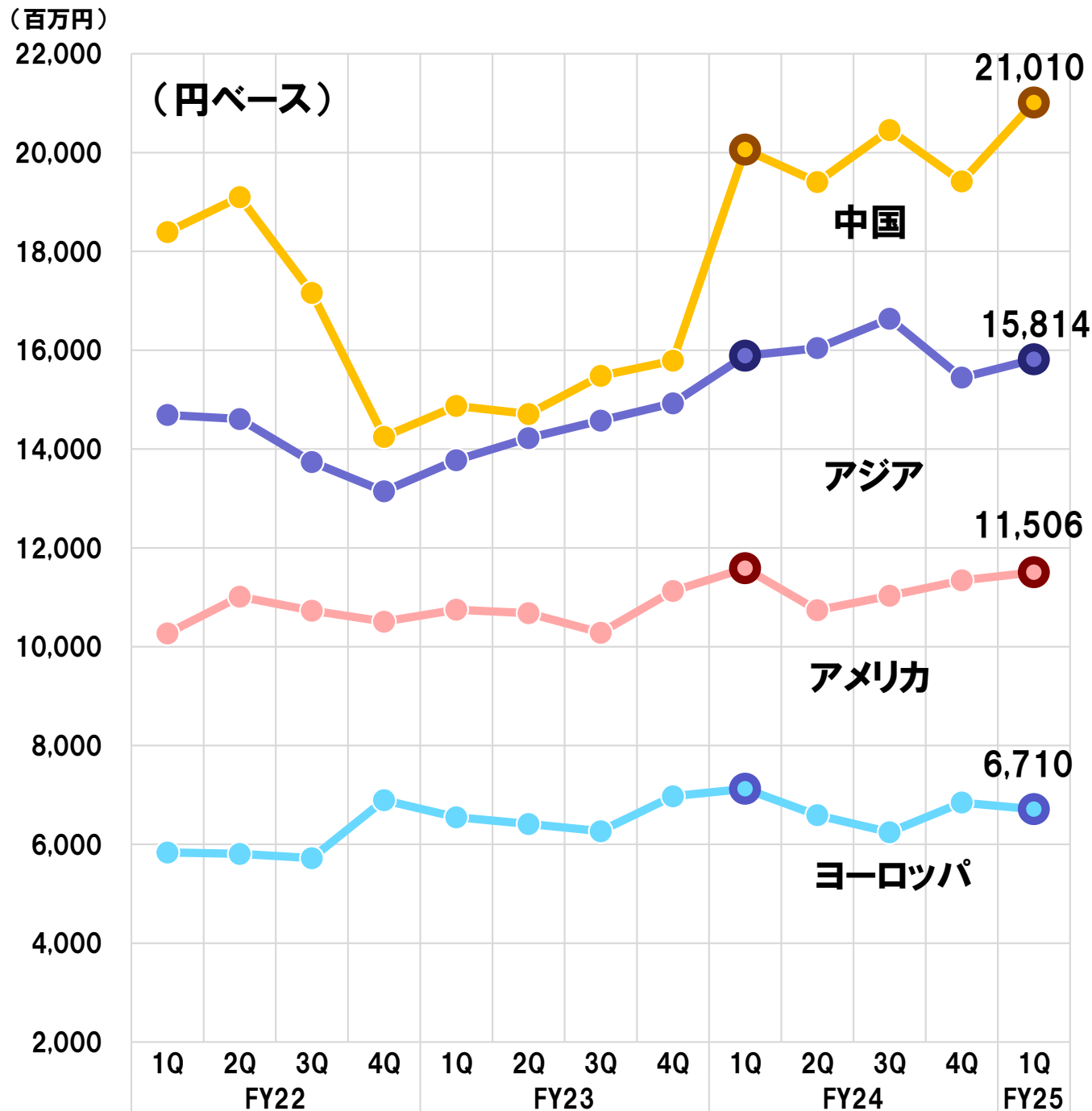
日本：関税影響を受け景況感悪化、自動車関連顧客を中心に慎重な姿勢

海外：中国が成長をけん引、米亜は為替除きで前年水準も欧州は低調継続

関税：日本・欧州・韓国は影響受け需要停滞



25年度 第1四半期 地域別売上高



中国

関税見通しは依然不透明も
E品始め独自施策堅調に推移

(前年比) 円ベース +4.7% 現通ベース +12.2%

アジア

韓国は国内投資低調継続、
その他地域は底堅く推移

(前年比) 円ベース ▲0.5% 現通ベース +4.9%

アメリカ

関税影響想定以下に留まるも
不透明性継続

(前年比) 円ベース ▲0.7% 現通ベース +7.1%

ヨーロッパ

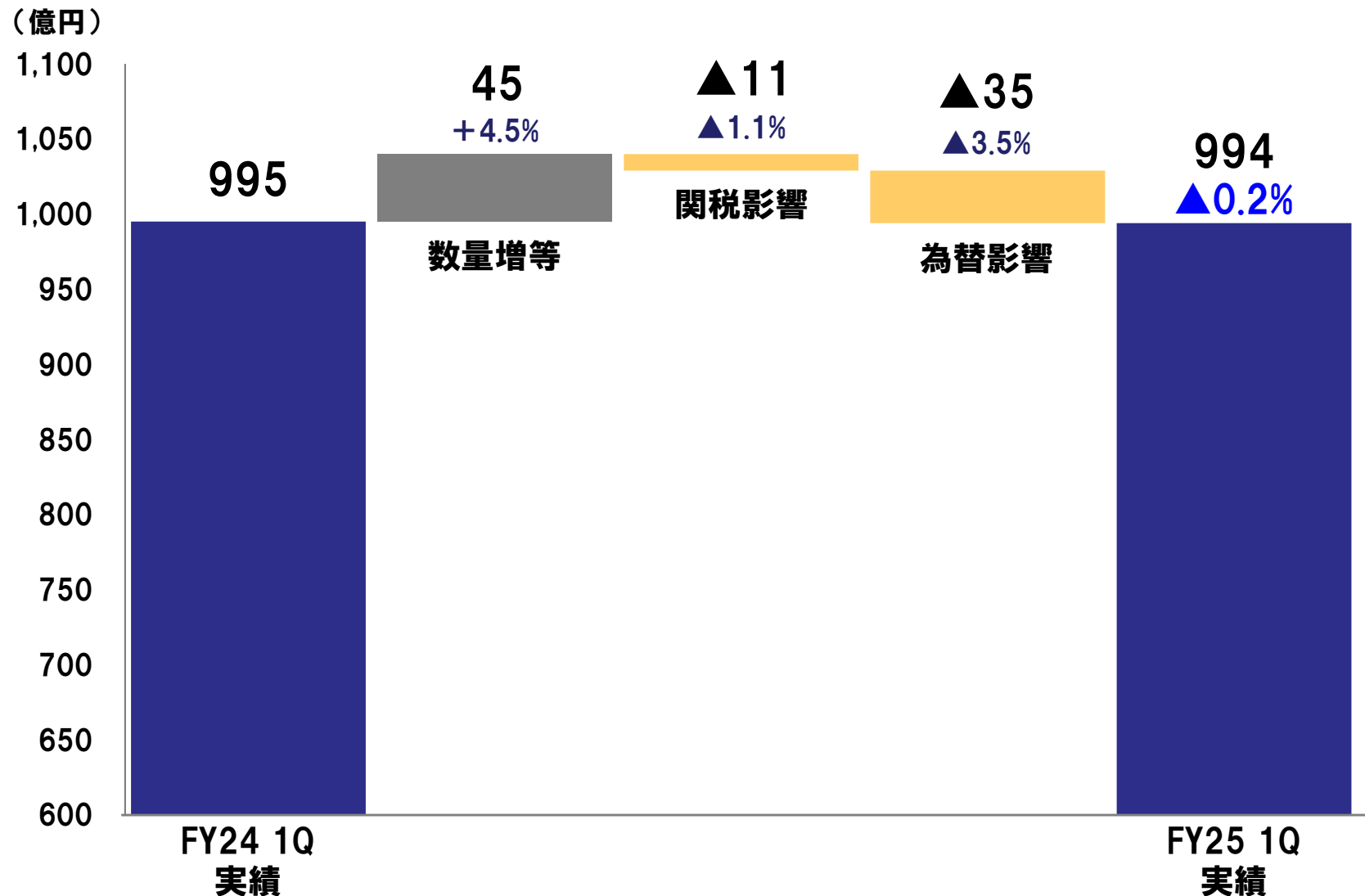
市況低迷による投資抑制は
自動車を中心に継続

(前年比) 円ベース ▲5.8% 現通ベース ▲3.5%

25年度 第1四半期 売上増減分析(対前年)

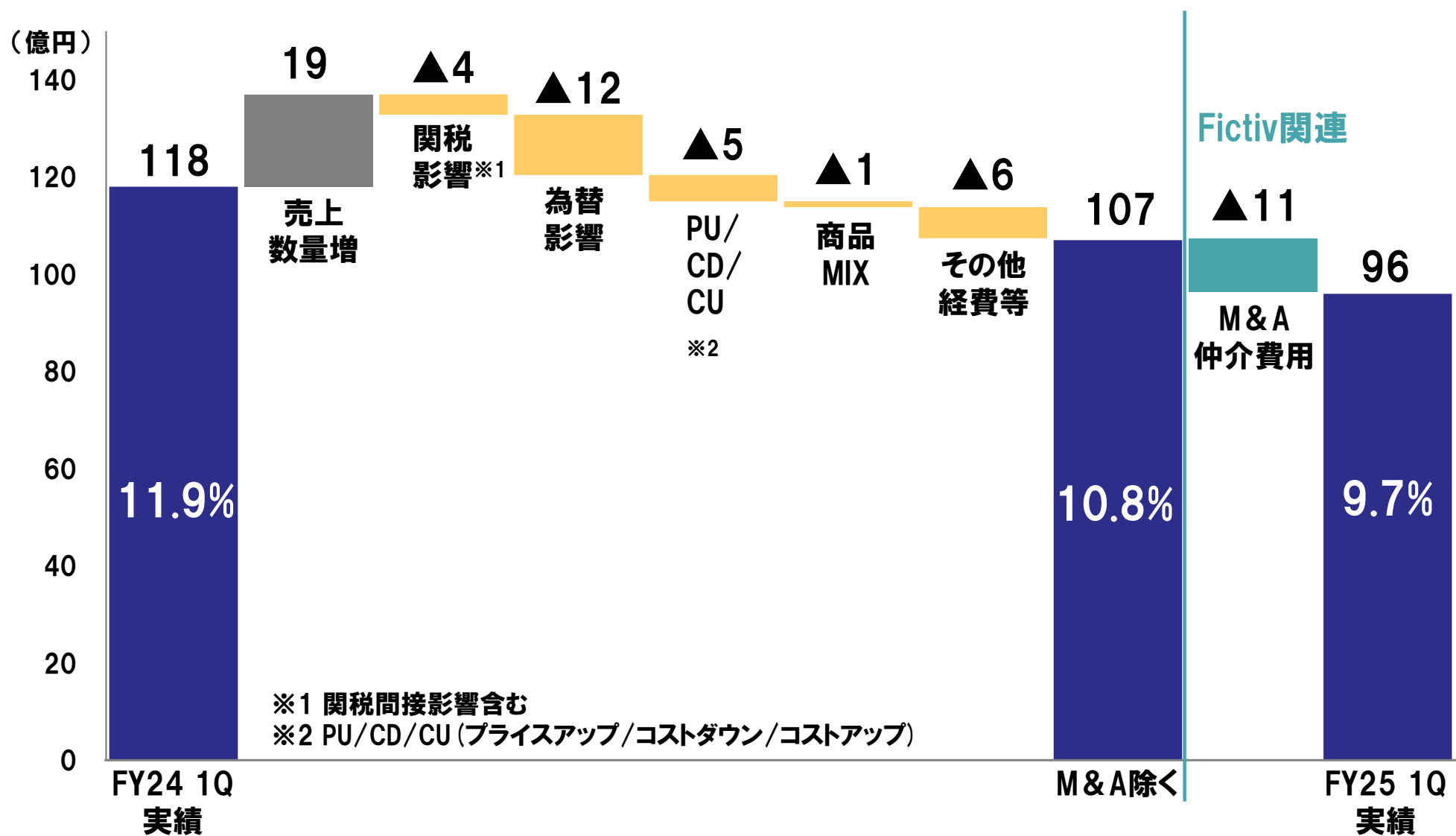
デジタル施策効果により売上数量は増加

関税影響および為替反動あるも、数量増と相殺し前年微減に留まる



25年度 第1四半期 営業利益増減分析(対前年)

独自施策の増益が関税/為替/CU影響を略吸収。商品MIXは前年反動軽微
事業基盤強化等の必要支出含め計画線着地も、M&A費用影響により減益



25年度 通期業績見通し

為替レート (対円)	FY24	FY25	
	実績	2Q以降	通期想定
USドル	152.5円	139.0円	140.9円
ユーロ	163.6円	160.0円	161.3円
人民元	21.1円	19.3円	19.6円

25年度 通期業績見通し

関税/為替影響は計画比軽微で増収確保、さらにFictiv連結で上方修正
独自施策効果で営業利益は概ね計画通り増益も、買収関連により減益

百万円

項目	連結前			Fictiv	連結後	
	FY24 実績	FY25 見通し (7/25)	対前年増減率	FY25 見通し (25/7~26/3 の9カ月間)	FY25 見通し (7/25)	対前年増減率
			円ベース (現地通貨 ベース)			円ベース (現地通貨 ベース)
売上高	401,987	409,954	+2.0% (+6.0%)	12,046	422,000	+5.0% (+9.4%)
営業利益	46,480	47,896	+3.0% (+14.5%)	※1 ▲4,995	42,900	▲7.7% (+2.6%)
利益率	11.6%	11.7%	+0.1pt (+0.9pt)	—	10.2%	▲1.4pt (▲0.7pt)
経常利益	49,901	48,450	▲2.9% (—)	▲5,149	43,300	▲13.3% (—)
当期利益※2	36,549	36,031	▲1.4% (—)	▲5,232	30,800	▲15.7% (—)

※1:内訳 (Fictiv単独業績▲1,298、M&A仲介費用▲1,065、のれん償却等▲2,632)

※2:Fictiv買収に伴う連結納税効果も反映

25年度 事業別売上高見通し

FA : meviyやエコノミー品による成長とFictiv連結により増収

金型 : 自動車関連需要減速による稼働低下および為替影響により減収

VONA: 中国中心に量産需要獲得し成長確保

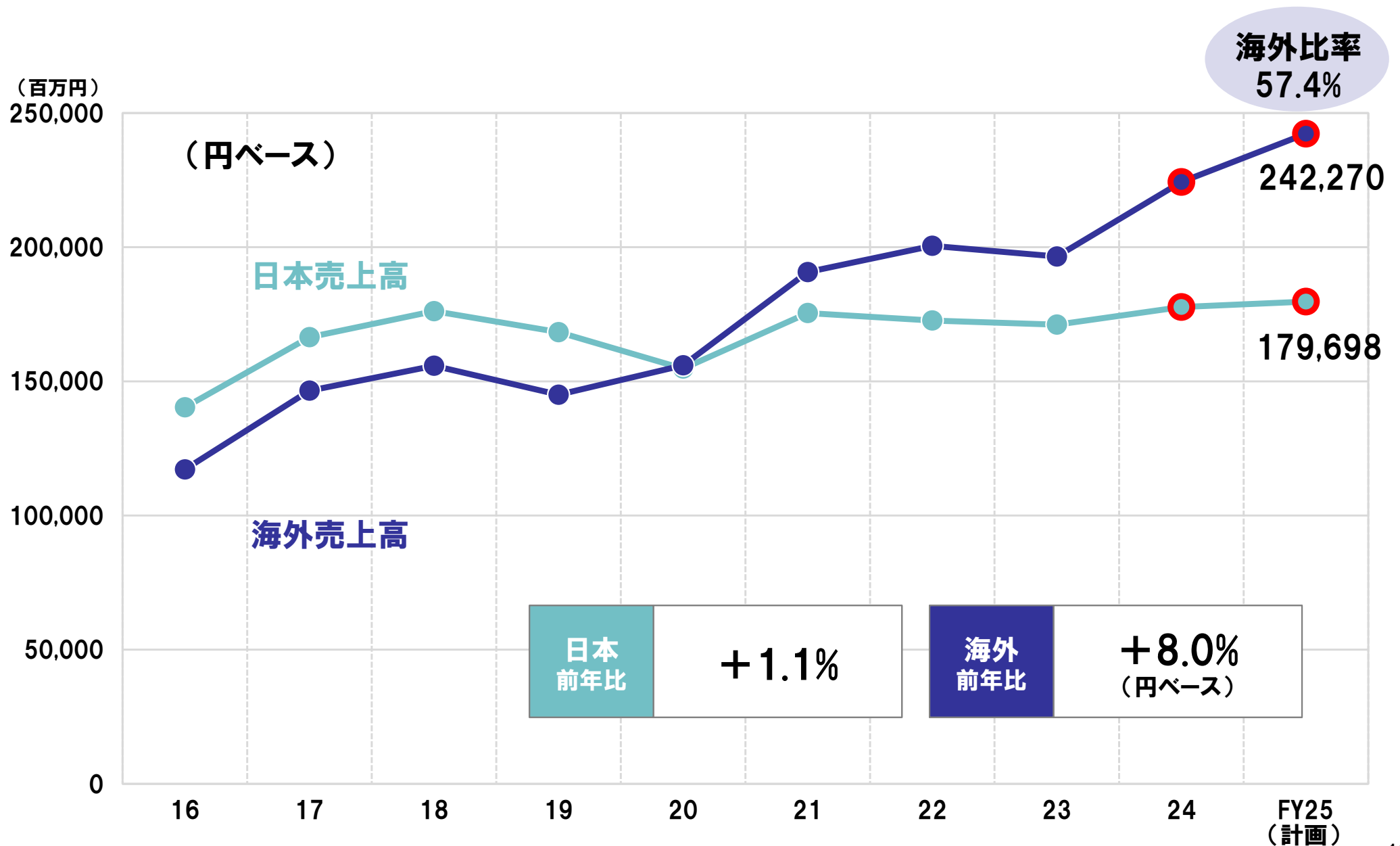
百万円

項目	FY24	FY25		
	実績	見通し (7/25)	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	401,987	422,000	+5.0%	+9.4%
FA事業	135,803	154,555	+13.8%	+18.7%
Fictiv連結前		142,509	+4.9%	+8.7%
金型部品事業	86,451	83,935	▲2.9%	+2.8%
VONA事業	179,732	183,510	+2.1%	+5.5%

25年度 日本・海外売上高見通し

日本：自動車関連需要は低調も、独自施策効果により前年増収を確保

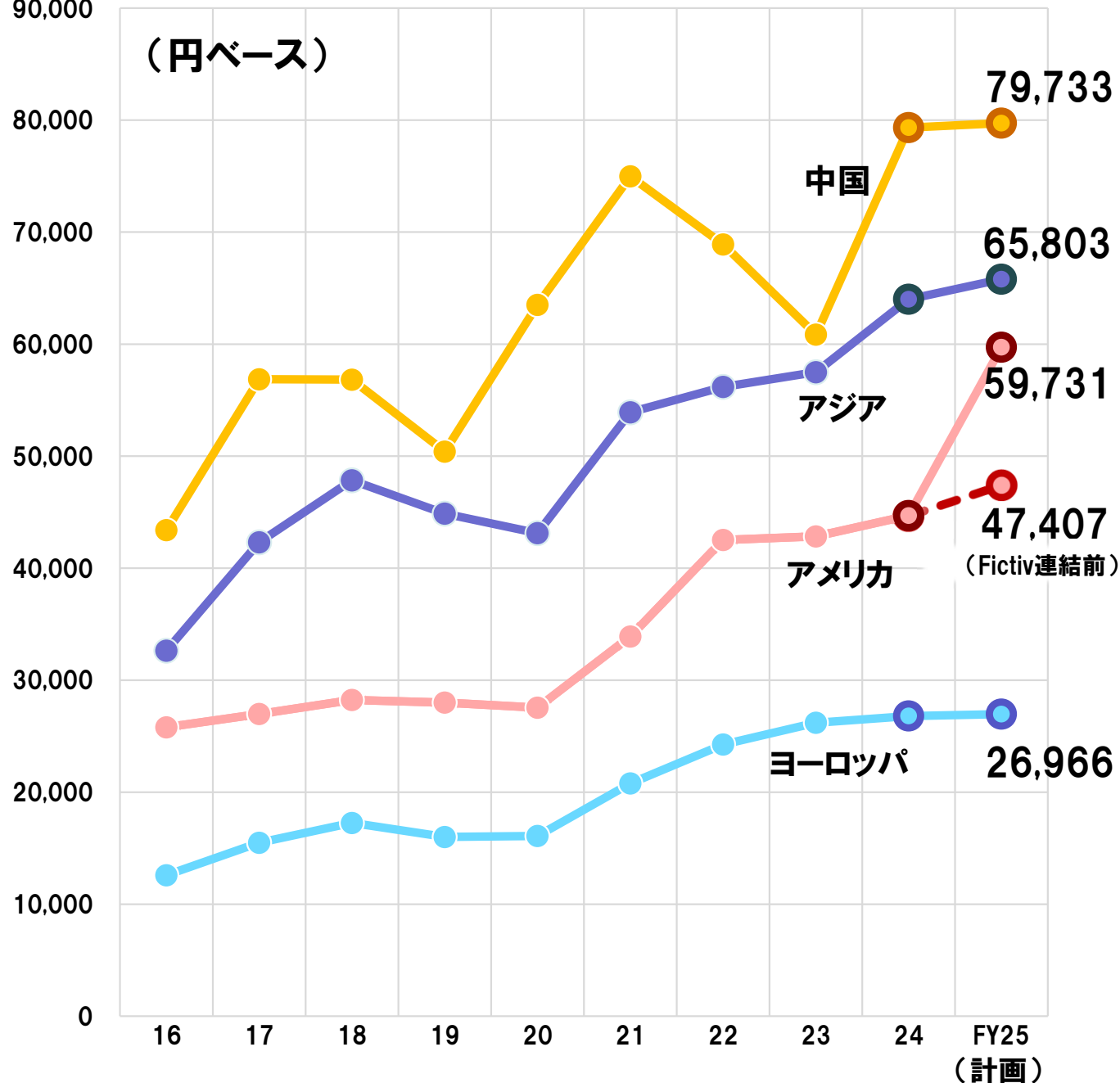
海外：総じて成長維持、さらにFictiv連結により成長加速



25年度 地域別売上高見通し

(百万円)
90,000

(円ベース)



中国

量産需要を獲得し増収

(前年比)	円ベース	現通ベース
	+0.5%	+8.5%

アジア

E品の成長が引き続き貢献

(前年比)	円ベース	現通ベース
	+2.8%	+9.6%

アメリカ

関税による不透明性は継続も
緩やかな回復 + Fictivで増収

(前年比)	円ベース	現通ベース
Fictiv連結前	+6.1%	+14.9%
Fictiv連結後	+33.6%	+45.2%

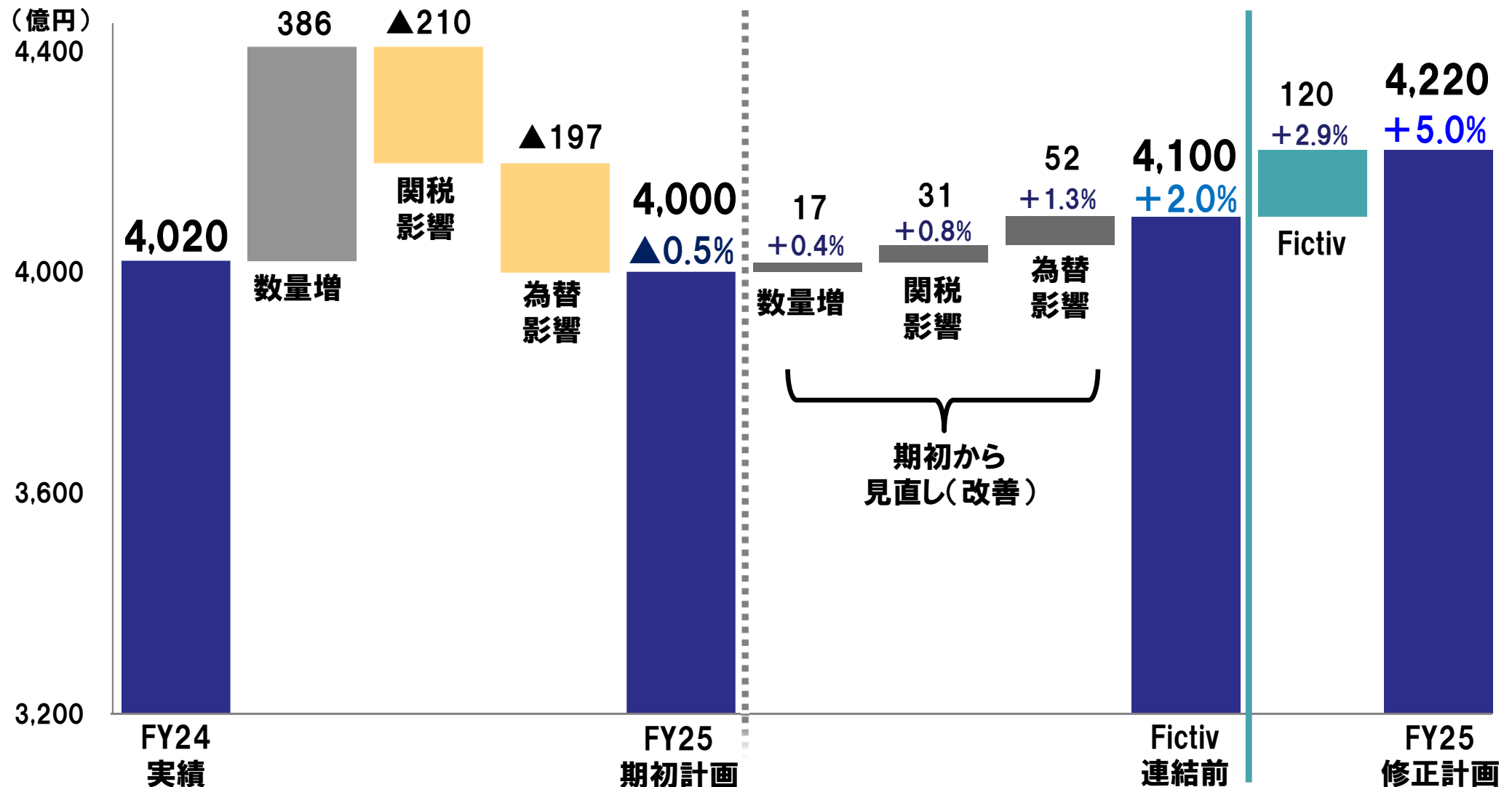
ヨーロッパ

主要産業である自動車を含め
需要回復本格化に時間を要す

(前年比)	円ベース	現通ベース
	+0.6%	+2.2%

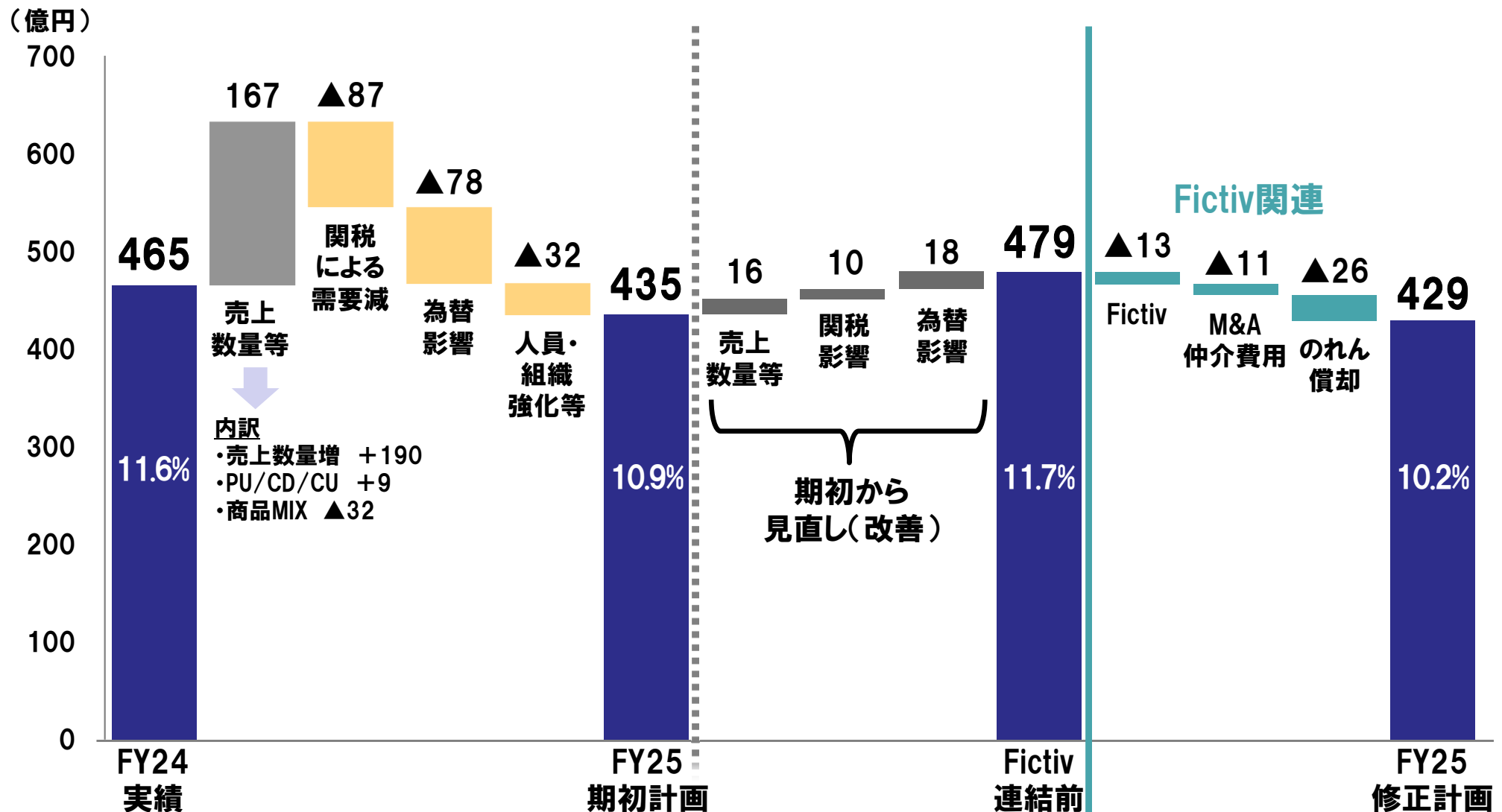
25年度 売上高増減分析(対前年)

期初計画より関税/為替影響幅が縮小、Fictiv連結前でも増収を確保
Fictiv連結により更なる成長を見込む



25年度 営業利益増減分析(対前年)

売上同様、期初計画から改善見立てによりFictiv連結前収益性は増益
連結後はFictiv買収関連を含め減益も、収益性は2桁を堅持



デジタルモデルシフトの見通し

() = 対前年伸び率

DM #1 meviy

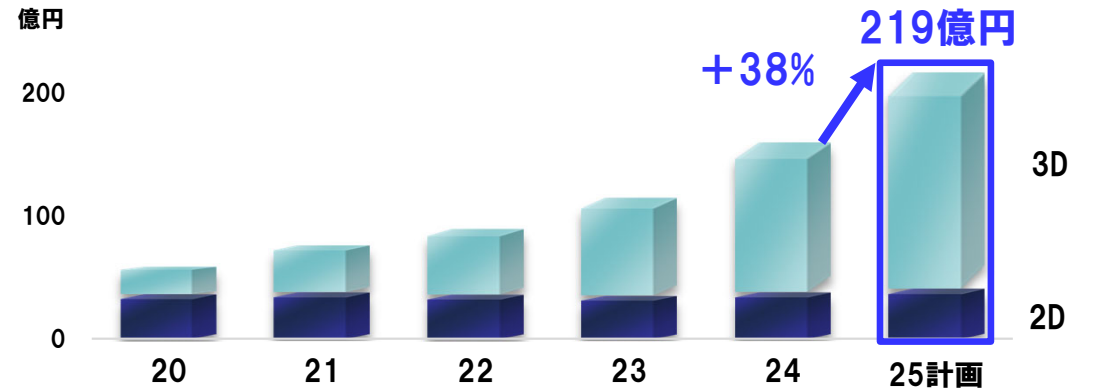
計画売上高

219億円
(+38%)

FY24実績

売上高 **159億円**
(+38%)

利用者数 **19万人**
(+34%)



DM #2 エコノミーシリーズ

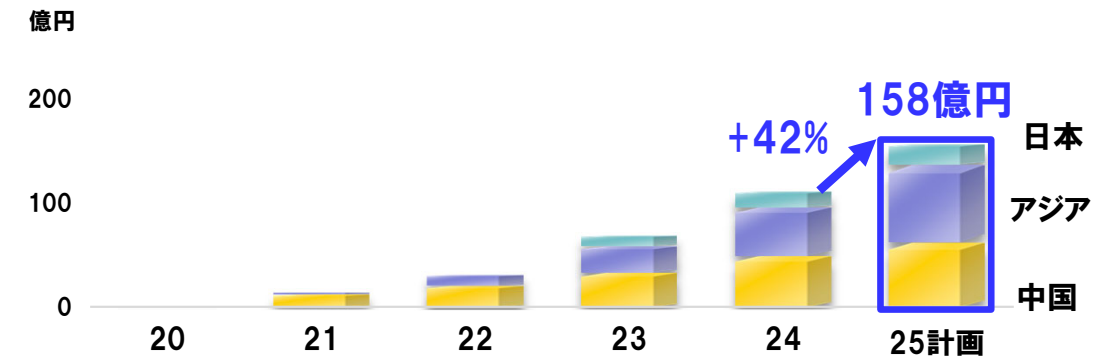
計画売上高

158億円
(+42%)

FY24実績

売上高 **111億円**
(+61%)

顧客数 **9万社**
(+25%)



DM #3 D-JIT

計画売上高

119億円
(+45%)

FY24実績

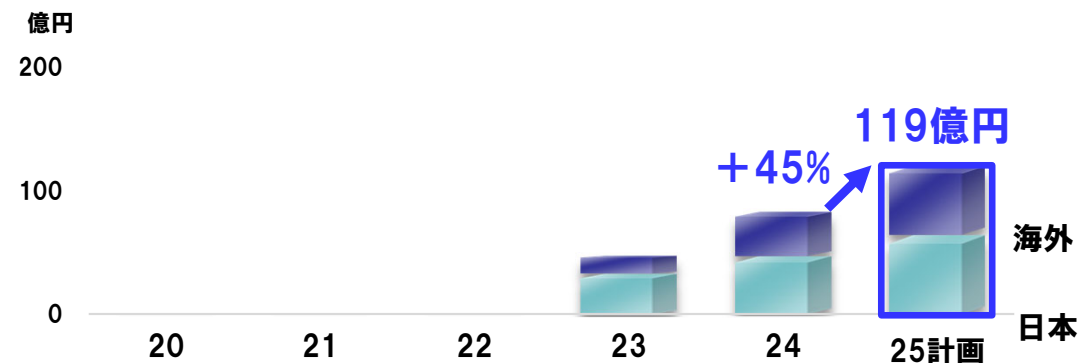
売上高 **82億円**
(+77%)

FY25合計

496億円
対前年+144億円
(+41%)

FY24合計

352億円



国際財務報告基準(IFRS)の任意適用

■ 目的

資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上

■ 内容

当社グループの連結財務諸表及び連結計算書類について、2028年3月期第4四半期より従来の日本基準に替えてIFRSを任意適用する方針を決議

■ 適用スケジュール(予定)

2028年3月期の業績予想はIFRSで開示する予定

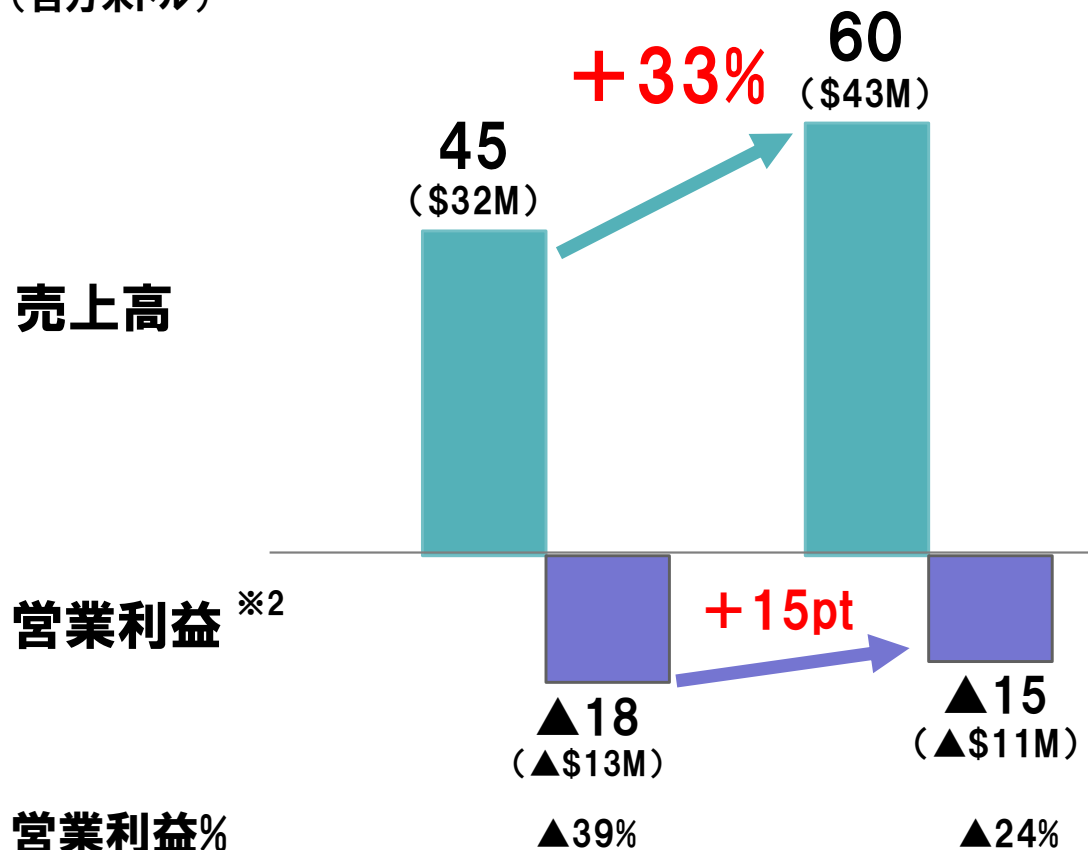
Fictiv業績/シナジー効果

Fictiv業績推移(単独)

関税等不透明な状況も上期+33%増収確保、通期で+35%成長を見込む
営業利益率上期実績+15pt改善、通期+13ptの改善を図る

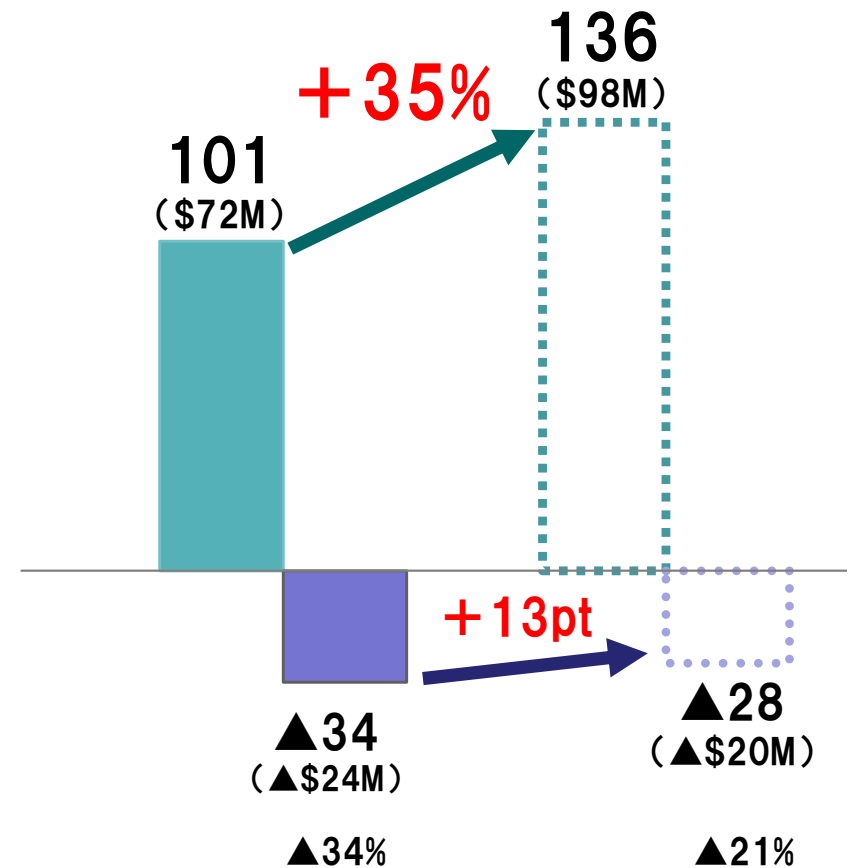
1H24 vs. 1H25 (1月~6月)

単位:億円 ※1
(百万米ドル)



CY24 vs. CY25 (1月~12月)

25年7月以降の業績より連結取込



※1:円:FY25為替想定で算出(1ドル139円換算)

※2:M&A仲介費用、のれん償却含まず

シナジー計画

【フェーズ1: ミスミリソースを活用したFictivの成長加速】

シナジー① リーン化

- ・ミスミ工場、ミスミ協力工場活用によるコストダウン
- ・ミスミ-Fictiv間シェアドサービス促進
- ・共通調達推進

シナジー② クロスセル

- ・ミスミ顧客への戦略営業推進
 - ミスミ客32万社(北米3.5万社)にFictiv事業の営業展開
 - ポイントはミスミ知名度、信頼度、取引口座
 - Fictivとしての顧客開拓、顧客定着効率化、期間短縮化

----- Fictiv単独で、遅くともFY27黒字化を目指す -----

【フェーズ2: ミスミとFictivモデル統合化】

シナジー③ 事業領域拡大

- ・Fictivの主戦場「製品開発(試作、少量生産)」向け事業を拡大
- ・Fictiv事業基盤、ノウハウ活かし、ミスミとしての新ドメイン拡張
 - 設備設計者数に対し製品開発設計者は大凡7倍
 - 製品開発リードタイム短縮化により部材の确实短納期がKSF

製品開発(試作、少量生産)向け事業

Fictivの主ドメインは「**製品開発**」領域、ミスミの「**設備製造**」領域とは異なる
Fictiv事業基盤＋ミスミの強さを融合し、ミスミドメインの抜本拡張を図る



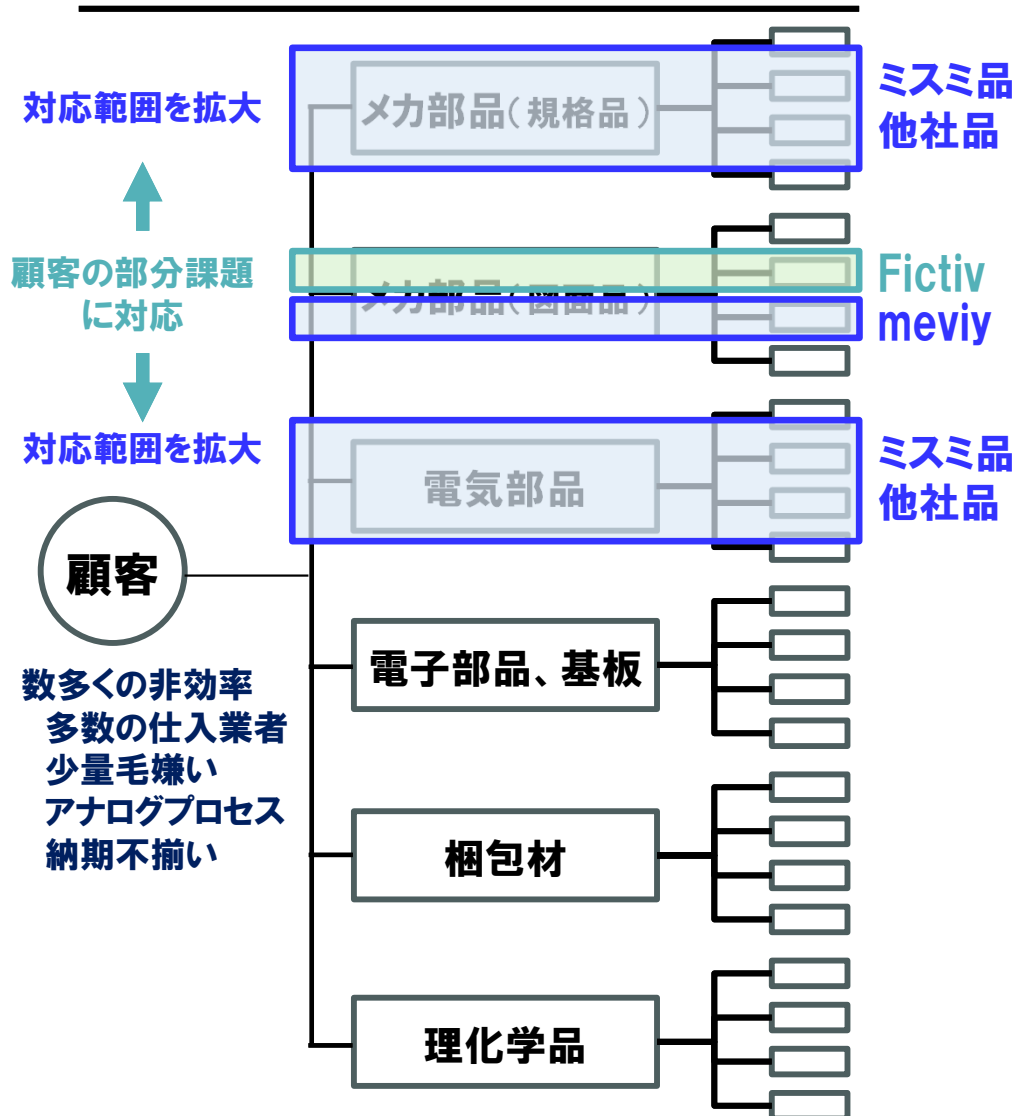
飛躍化のポイントは「**法人向けデバイス**」+「**業界ビジネスプロセス革新**」

製品開発(試作、少量生産)向け事業拡大ステップ

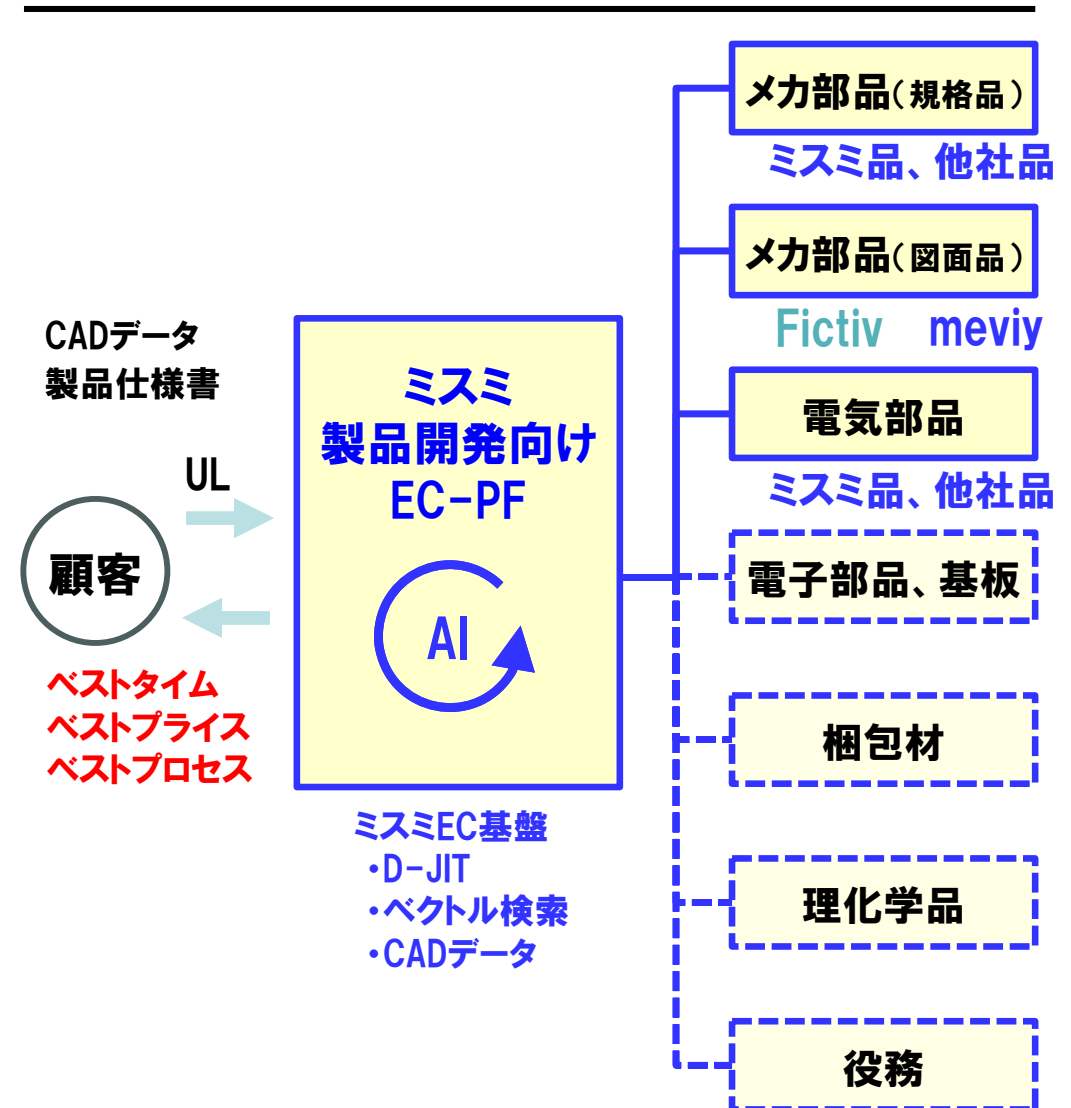
製品開発段階の部材調達は少量多品種故に顧客負担が極めて高い

Fictiv + ミスミの融合で顧客に非効率を強いる**業界プロセスの革新**を目指す

現状／当面の姿



ミスミが目指す姿



資本政策の見直し/自己株式取得

資本政策の見直し

中国含めたキャッシュマネジメント進展で必要資金低減

＜資本政策方針＞

- ・ 成長連鎖経営の実現に向けた中長期視点での成長投資を優先しつつ、株主還元充実とのバランスも重視
- ・ 更なる資本効率向上に注力し、エクイティ・スプレッド拡大を目指す

＜キャッシュアロケーション＞

- ・ レバレッジ活用を含めた手元資金と将来キャッシュフローは、M&A含む成長投資や自己株式取得へ、株価水準などの状況も踏まえて機動的にアロケーション
- ・ BCP対応含む必要資金は、キャッシュマネジメント進展により約700億円へ見直し（従来1,000億円）

自己株取得

前述踏まえ、
株価水準等も総合的に勘案のうえ、自己株取得250億円を実施

今般、以下要領にて決議

- 取得総額上限 : 250億円
- 取得株数上限 : 17,000,000株
- 取得期間 : 2025年8月1日～2026年3月31日

参考資料

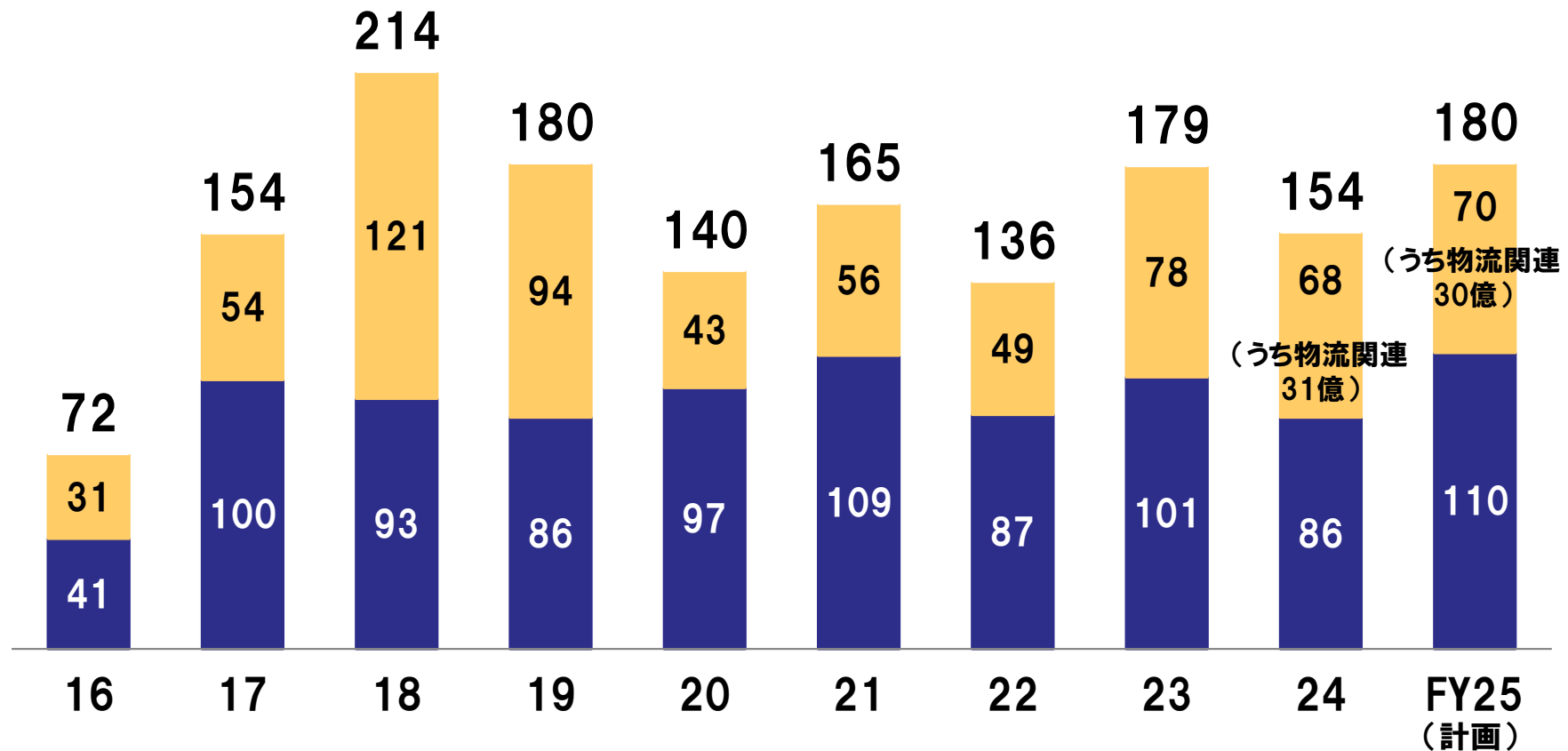
設備投資

FY25:IT基盤のほか、meviyなどのデジタル関連施策への追加投資を計画

設備投資の推移

(億円)

生産・物流関連
IT関連

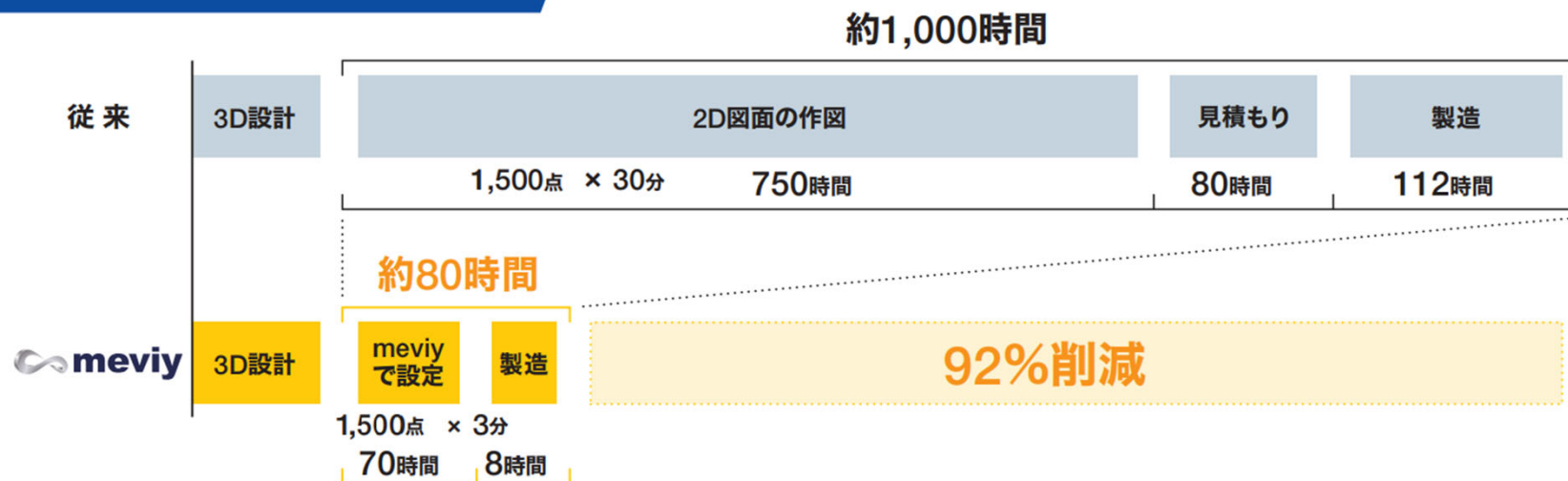


部品調達革命:meviy

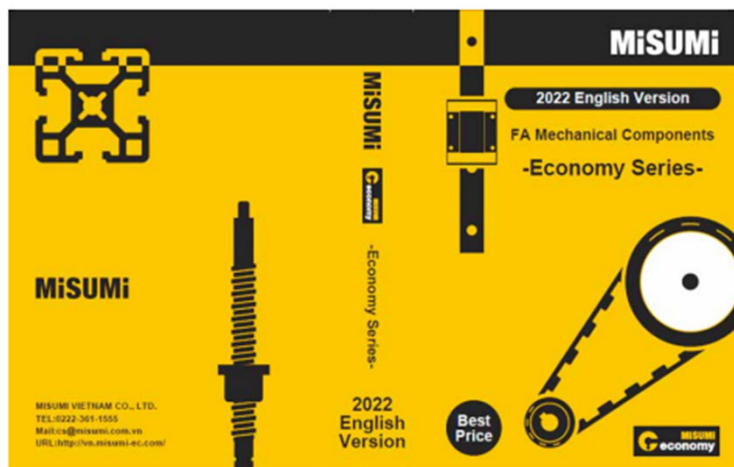
- 機械部品の3DデータをアップロードするだけでAIが自動で即時見積もり、独自のデジタル製造システムにより最短1日での出荷を実現するプラットフォーム(無料)



部品点数1,500点の設備の部品調達の場合



- 中国発、ミドルレンジ需要に向け新たに投入した価格競争力の高い商品シリーズ



既存品との比較

既存品



-0.009~0

100

エコノミー品



-0.012~+0.003
(ミドルレンジ精度)

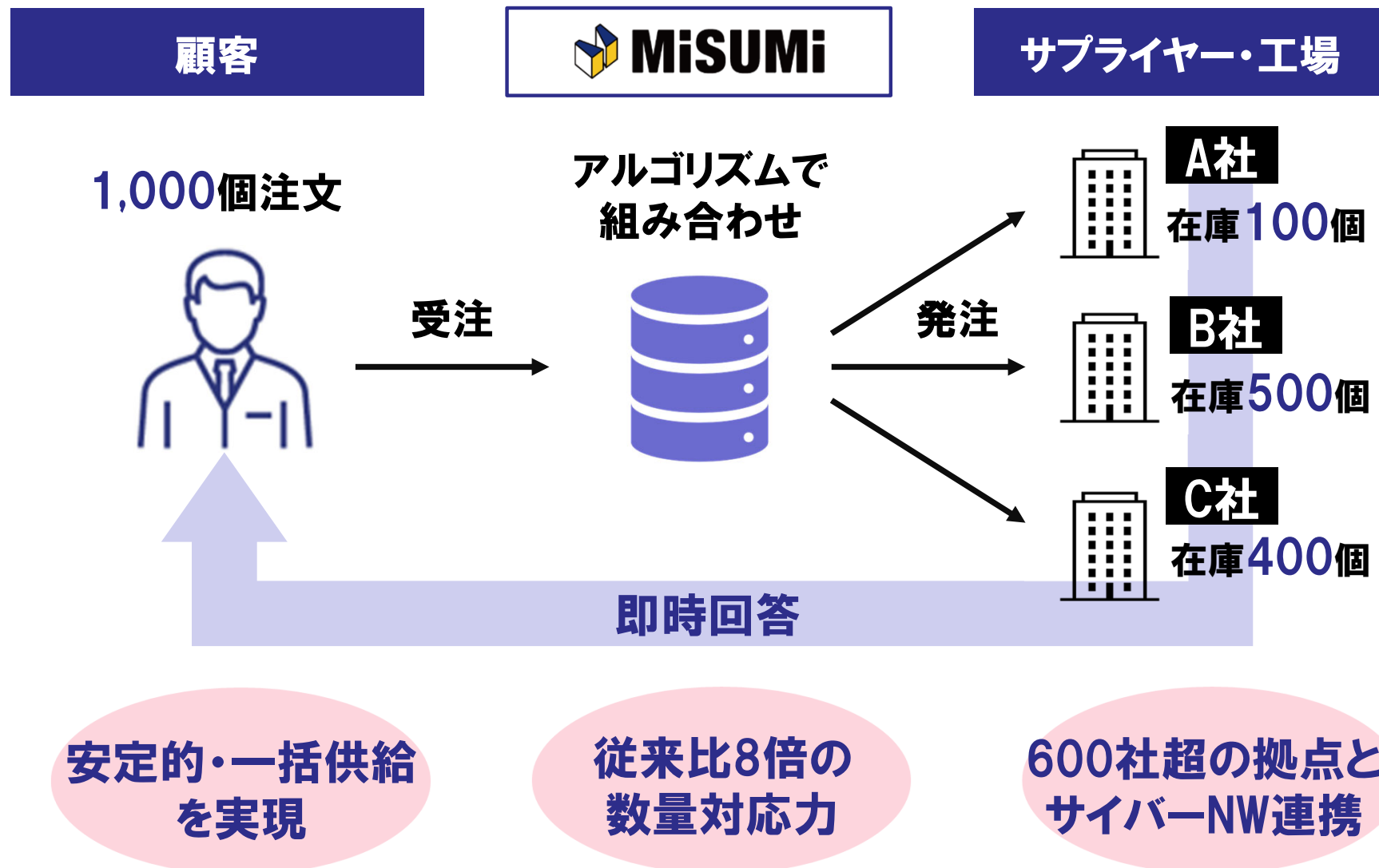
30~50

精度
(内径公差)

価格
指数

D-JIT:大量調達の実現

- 大量調達でも顧客希望数量を短納期で応える独自システムを構築・展開
- 日本からグローバルに拡大し、「**少量短納期のミスミ**」から「**大量でもミスミ**」へ



ミスミ在庫約500億円→バーチャル在庫約4,000億円

デジタルモデルシフト第4弾：floow

- お客様の購入頻度に応じて間接材トータルコストダウンサービスを構築
- 設備工場から量産へと既存顧客内浸透と共に異業種新規顧客も獲得



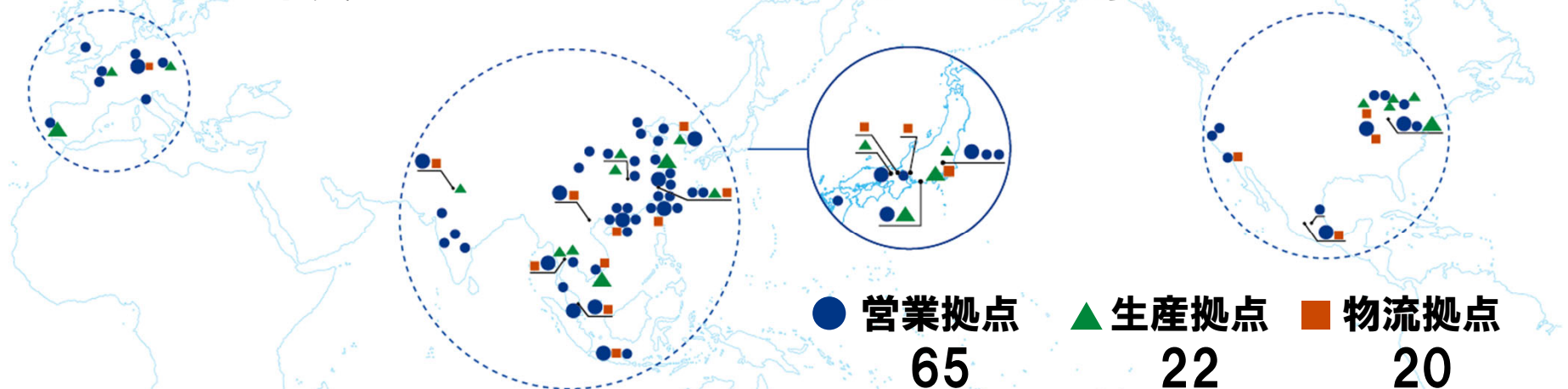
事業基盤

IT

- 持続的な成長に向けて積極的なIT投資を実施
- FY21から基幹システムを全面刷新
- 新機能開発スピード3倍、開発コスト3分の1を実現

生産・物流

- グローバルで確実短納期体制を強化し、より一層の商品の安定供給を目指す



生産

グローバル5極生産体制を構築。
有事の際には、直ちに生産工場
を切り替えることが可能

物流

自動化を導入したオペレーションをグ
ローバル展開。生産性向上(質)と拠
点拡張(量)の両輪で物流基盤強化